

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷 ● 京丹波

# 京丹波

No.45

2009年  
7月15日発行

貴重な体験  
トンネル工事の  
現場を見学



高校生が考える京丹波町のまちづくり

# 船井未来創り ディスカッション

社団法人 船井青年会議所が6月21日、須知高校生から松原茂樹町長にまちづくりの提言をする「船井未来創りディスカッション～若者よ大志を抱け～」を町中央公民館で実施。高校生は、地域に足りないものや施策に対する疑問など、それぞれの思いを松原町長に投げかけました。



今月の表紙

畑川ダムトンネル工事の工法について、模型を使った説明を受ける下山小学校の児童。地元で行われている工事の状況を教わりながら、実際に工事現場を見学することで、たくさんのお話を聞いていました。(関連記事を13ページに掲載)



## 高校生が思い描く— まちづくりの方向性

船井青年会議所は、高校生が地域への思いや疑問などを出し合う場として、今回の討論会を企画。地元の須知高校に募集したところ、地元から通う八人の生徒から応募があり、「京丹波町のまちづくり」をテーマに松原町長との討論会が行われました。

### ■京丹波町の取り組みについて

**高校生** 町長が考えるまちづくりの方向性を聞かせてください。  
**町長** 今の時代は、「みんなで考えて、どのようにうまく活用できるか」が求められています。

多くの方の思いを聞かせていただき、みなさんができる部分と、行政で手伝える部分を明確にし、協働のまちづくりを基本に取り組むことが大切だと考えています。

**高校生** 国などで問題になっていますが、税金の使い方はどのように監査しているのですか。  
**町長** 議会代表と住民代表の監査委員に毎月定例で監査してもらい、九月議会で決算を審査いただいています。

**高校生** 町内に医療機関が少ないと思います。また、医療設備の状況はどうなっているのですか。  
**町長** 本町の人口規模であればどの程度の医療機関が必要かを考えなくてはいいけません。

業体験は重要な役割をもっており、地域との関わりを持つ場としても活用されています。町としては、農業で生活が成り立つよう応援をしていきたいと思っています。

### ■高校生からの提案

- 使わなくなった保育所を野菜市や老人ホームに活用する。
- 商店街の活性化を図るために、空き店舗を使って「井戸端会議」などを実施する。

## 高校生が語る— 「町長になって したいこと」

討論会で議論が交わされた後、高校生に聞かれたのは「もし、自分たちが町長になったら何をしますか」との質問。高校生は、「農業経営の企業を立ち上げたい」「冬ほたるなどのイベントをたくさんやっていきたい」「高校生まで『すこやか子育て医療費助成』を拡充したい」など、自分自身が考える町の方向性を次々と語りました。

また、同会議所の塩貝孝之理事長は、「提案いただいた中には、高校生のみなさんが取り組める内容が多くあったと思う。わたしたちは地域がよくなることを考えて活動しているので、みなさんも積極的にまちづくりに参加してもらいたい」と、未来の京丹波町を担う高校生に呼びかけました。



## 松原町長が語る 「まちづくり」への思いと 高校生へのメッセージ

まちづくりとは「居心地の良さを高めること」であり、これまでは「借金をしてもいつか返せよ」との思いから、まちづくりを進めてきました。その結果、上下水道や道路などの整備が進み、住みよい環境は整ってきましたが、これからは無駄を省いて財政の健全化を図らなければなりません。  
また、現在の住みよい環境が当たり前前のようになっていますが、多くのおみなさんが長年にわたり努力されてきた結果であり、今も多くの人たちがまちづくりに関わっておられることを知っていただきたいと思います。自分たちが育ってきた町の経緯や、たくさんの方々の思いを原動力にして、それぞれの夢に向かって進んでください。

## 魅力ある地域として 足りないものは

**高校生** 和知地区で実施している農業体験をもっと幅広くPRし、町として取り組みを進められませんか。  
**町長** 農業の考え方は、今までのように「親が農業をしていたから」ではなく、不況を受けて新たに就農を希望する人が増えてきています。ただ、初期投資費用などの問題があるので、就農者の最初の受け皿として農

せん。また、日進月歩で高度な医療機器が開発されるため、更新などの必要性も出てきます。費用やスタッフなどの関係もあるので、町内の医療機関は「気軽なかかりつけ医」、南丹病院は「高度医療」と、それぞれの役割を明確にすることが大切だと思います。

## 京丹波 No.45 CONTENTS

- 2 高校生が考える京丹波町のまちづくり「船井未来創りディスカッション」
- 4 自然をキャンパスに絵を描こう 農村風景を彩る「田んぼアート」
- 6 ケーブルテレビ拡張整備事業の現状 今年度から加入者宅への引き込み工事を開始
- 10 Dr's Message いきいき健康術
- 11 フラッシュ TOWN NEWS 2009 地域の未来を語ろう —「地域力向上会議」を初めて開催 京都府社会教育委員連絡協議会長から表彰状を贈呈 —社会教育委員の中野さんに表彰状を授与 工事について学ぶ機会を —松山小1年生が京都縦貫道の工事現場を見学 遊休農地の荒廃を防ぐために —西河内で「レンタカウ」を開始 発達支援の充実を目指して —丹波ひかり小学校に通級指導教室が開設 健康づくりは歯の予防から —健康広場 ゲートボールを通じて世代間交流を —ふれあいゲートボール大会 長瀬地区の活性化プランを近畿大学の学生が提案 —「元気!長瀬の会」がワークショップを開催 現場で学ぶ畑川ダムの工事状況 —下山小の児童が畑川ダムトンネル水路工事現場を見学 ボランティア活動で快適な環境を —松山寿会が京丹波町病院周辺の除草作業を実施 地域の交流やふれあいを深めるために —京丹波町グラウンドゴルフ大会 健康づくりへの思いを川柳に託して —「健康づくり川柳」の入選作品が決定 野生動物を供養するために —京丹波町猟友会和知支部が鎮魂塔を建立 児童たちが選ぶお気に入りの図書 —竹野小学校が「選書会」を実施
- 16 ありがとう オードリーさん、ブライアンさん

# 農村風景 を彩る

# アート たんぼ

農林業を基幹産業とする本町には、町内各所に多くのたんぼがあります。田植えから稲刈りまでの期間、農村風景を鮮やかに彩る「たんぼアート」の取り組みが曾根地内で行われ、色の異なる数種類の苗を使って巨大なカエルと太陽が描かれました。苗の成長に応じて変化させるカエルの姿を、みなさんぜひご覧ください。

## 身近な「たんぼ」が観光資源に

「たんぼアート」は、たんぼをキャンパスに見立てて、色の異なる数種類の古代米などを使って巨大な絵を描く取り組みで、田植えから稲刈りまでの約四か月間、苗の成長に応じて絵柄の変化を楽しむことができます。ことから、地域の観光資源として岡山県美作市などで実施されています。

本町では、丹波自然運動公園が主体となり町と曾根区の三者が『協働』して、今年初めて取り組みを実施し、同公園南側のたんぼに巨大な「カエルと太陽」を描きました。

## 笑顔のカエルが印象的な

「あっぱれたんぼ」  
二枚のたんぼを使って描かれた絵柄は「カ

エルと太陽」。上の田に描かれた太陽は力強く光を放ち、下の田に描かれた満面の笑顔で微笑むカエルを照らし続ける様子を表現しています。絵柄を見て「なぜカエルなの」と思う人が多くあると思いますが、カエルには「基本に返る」「故郷に帰る」「農業に帰る」「気持ちを入れ替える」など、何かを「カエル」きっかけにしてほしいとのメッセージが込められています。

また、たんぼアートには、それぞれの特徴を示す名称が付けられていることから、どんなときにも笑顔絶やさず、多くの人々に希望を与え続けるあつ晴れなカエルの姿にちなんで「あっぱれたんぼ」と名付けられました。

## 昔ながらの農村風景 手植えで苗の植え付け作業

六月七日、「たんぼアート」の田植えが行われ、地元住民や公募で集まった約七十人が参加しました。

開会式では、同公園理事長の松原茂樹町長が「今回の取り組みを多くの人にPRすることで、曾根区の地域づくりに役立てていただきたい。田植えが初めての参加者もあると思うが、苗が成長し、色鮮やかに絵柄を描き出す風景を思い浮かべながら田植え作業をお世話になりたい」とあいさつした後、参加者らは岡山県美作市で取り組みを展開されている新田博美さんから「古代米は倒れやすいので三本ぐらいの束で植えてください。」など、古代米の性質や植え方などの説明を

受けました。

田植えが始まると、参加者らは新田さんの指導を受けながら、水田に張り巡らされた糸に沿って古代米の黒米で輪郭を縁取り、続いて横一列に並んで絵柄の内側に古代米や日本晴など品種の異なる五種類の苗を手植えで慎重に植えていきました。

参加した子どもたちは、「素足でたんぼに入ると気持ちいい」「田植えは初めてだけどおもしろい」と話し、普段体験できない手植えでの田植え作業を楽しんでいました。

なお、同公園では、絵柄全体が見渡せるように、園内のプール下にある駐車場に展望台を設置。展望台は、たんぼから約七メートルの高さで、開園している時間であれば無料で利用することができます。



インタビュー

## 岡山県美作市 新田 博美さん

「たんぼアート」は、食や環境の大切さを水田から発信し、小さな村おこしに役立てたいとの思いから、地元の美作市で7年前から取り組んでいます。

今回の田植え作業では、地元の曾根区のみなさんが多く参加されているのが印象的で、村おこしの熱い思いが伝わってきます。

田植えが済んで3週間ほどすると絵柄が見えてきて、それからは1週間ごとに色合いが変わってきます。一番の見ごろを迎えるのは、8月を過ぎてから稲穂が色づく時期です。みなさんも絵柄が様変わりする様子を楽しんでください。

また、古代米は美容効果が高く、味もよいので、秋の収穫を楽しみにしてください。



# ケーブルテレビ拡張整備事業の現状

## 今年度から加入者宅への引き込み工事を開始

町の重要施策として、町の一体感の醸成と情報の二元化を目指し、平成二十三年四月の全町開局に向けて工事を進めている「ケーブルテレビ(CATV)拡張整備事業」。地上デジタル放送や高速ブロードバンドへの対応を考慮して、CATVの要となる光ファイバーケーブル(光ケーブル)の幹線伝送路工事をはじめ、加入者宅への引き込み工事に向けた準備を進めています。現在の工事状況と今後についてお知らせします。

◆工事の進捗状況  
CATV拡張整備は、丹波地区と和知地区に分けて順次工事を進めています。  
丹波地区では、本年二月から光ケーブルを電柱へ取り付ける作業に入り、六月末時点で、地区全体の約五七%が完了。和知地区でも昨年の十二月から同様の工事を実施し、地区全体の約九四%が完了しました。  
また、放送や通信を送出する拠点施設となる瑞穂センター(京丹波町情報センター)をはじめ、丹波サブセンター(丹波情報センター)や和知サブセンター(和知支所)内の機器設備も設置を完了しています。今後は、残りの幹線伝送路と、瑞穂センターと丹波・和知のサブセンターを結ぶ中継伝送路を整備することで、伝送路工事がすべて完了します。  
なお、伝送路工事は本年九月ごろの予定です。

◆加入者宅への引き込み工事を今年度から開始  
光ケーブルの幹線伝送路工事が完了後に、加入者宅への引き込み工事を開始します。引き込み工事では、幹線伝送路から各加入者宅に光ケーブルを接続し、ONUを設置します。(図1参照)  
なお、引き込み工事は、工事の進捗状況に応じて順次行っていくますので、地区によっては早ければ十月ごろから開始できる予定です。また、本年度は、音声告知放送システムの構築や地上デジタル放送第二受信点の整備も予定しています。

◆加入申込書などを順次送付  
今後は、工事進捗状況に応じて、加入申込書や案内パンフレットを送付していきます。  
送付予定時期は、和知地区が八月から九月ごろ、丹波地区が十月から十一月ごろで、その後、加入申込書の受付を順次開始する予定です。(フロー図参照)  
なお、丹波・和知地区では、CATV拡張整備工事期間中(平成二十三年三月三十一日まで)を加入促進期間とし、通常八万円の加入分担当金を一万円に減額します。  
これは、今回の拡張整備事業が、国の交付金を活用して機器購入費などに一定の補助を受けていることによる特例措置です。

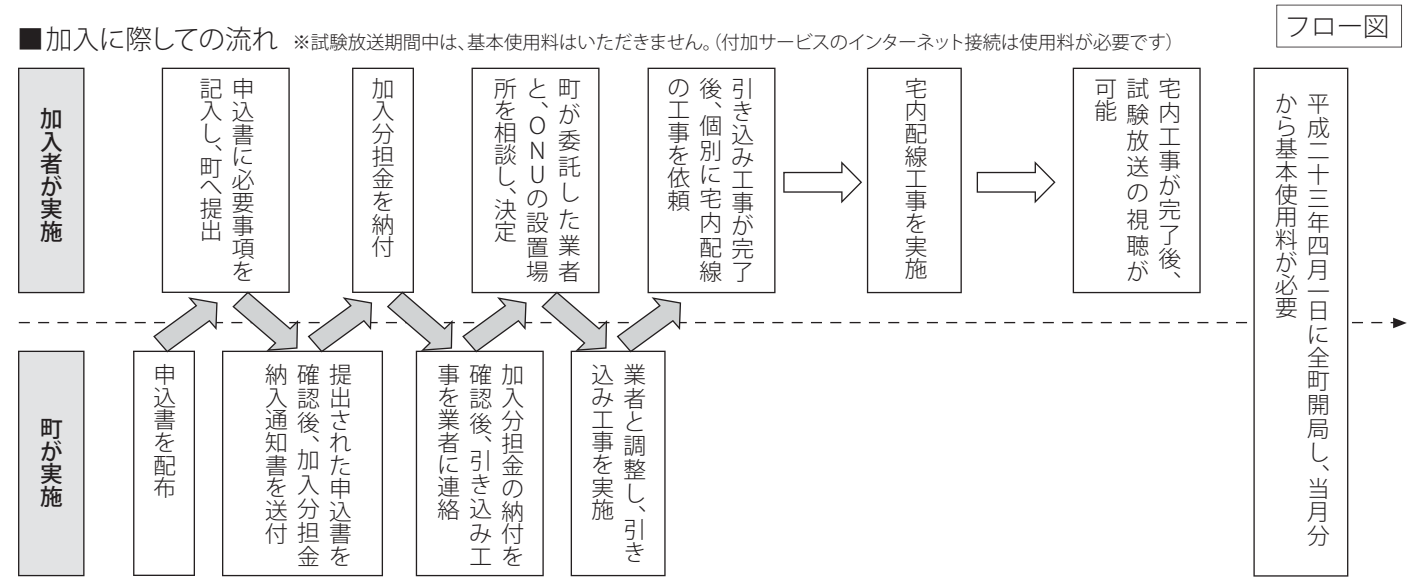


図1

### 加入申し込み

ケーブルテレビに加入いただくと以下の工事が必要です。

### 引き込み工事 (一般居宅の場合のイメージ)



※写真はイメージです。実際に設置する機器とは異なります。

「ONU」と呼ばれる機器の取り付け位置を決定し、取り付けます。



ONU取り付け拡大図

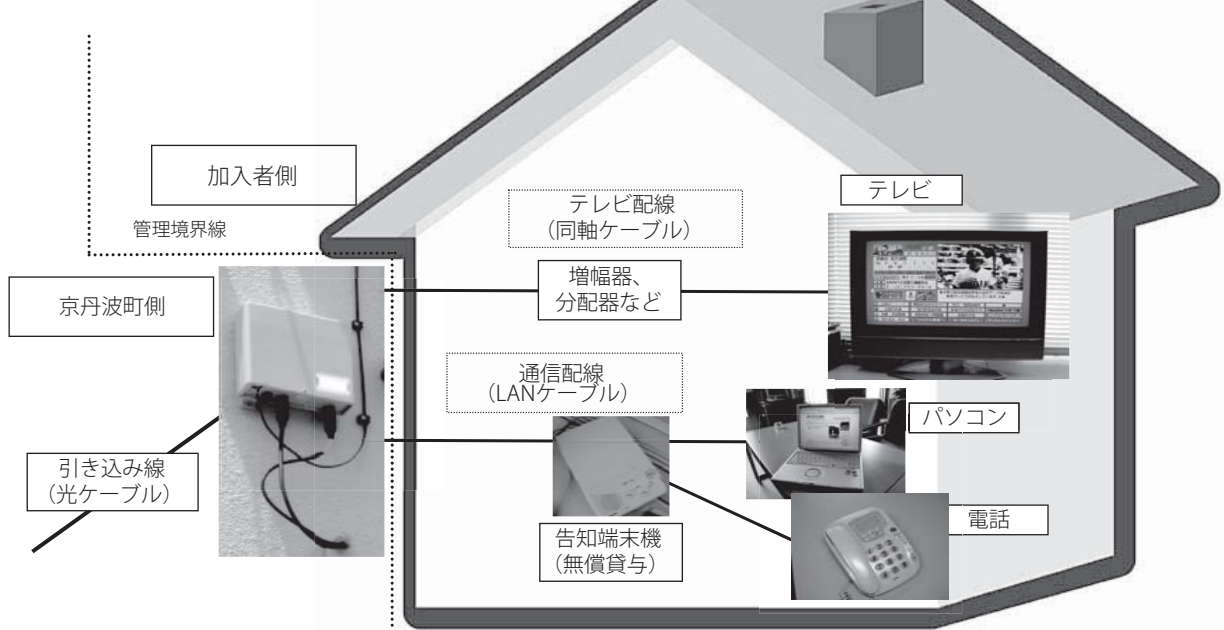
ONU：光信号を電気信号に変換する装置。

幹線ケーブルから分岐して光ファイバーケーブルを居宅のONUまで配線します。

※加入促進期間中は、町が引き込み工事を行います。

引き込み工事が完了すると、宅内配線工事(テレビや告知端末機、パソコンなどへの配線工事)が可能となります。  
\*工事費用は加入者負担。

### 宅内配線工事 (イメージ)



※管理境界線から居宅側の配線が、加入者が個別に電気店などへ工事を依頼していただく部分です。

—CATVに関するお問い合わせは—  
**京丹波町情報センター**  
☎88-5000

—地上デジタル放送に関するお問い合わせは—  
**総務省 京都府テレビ受信者支援センター**  
☎(075)212-9113

\*地上デジタル放送に関する悪徳商法にご注意ください。

## ケーブルテレビの主なサービス

### 1 テレビ放送



NHKや民放放送、BS放送が視聴できるサービスです。地域の出来事や話題、議会の模様などを盛り込んだ自主放送番組「京丹波ウィークリー」を、週1回更新して放送しています。また、文字放送や農業気象情報も放送しています。

### 3 有線電話サービス



専用の有線電話番号を設定し、町内であれば通話料無料で通話ができるサービスです。運用は、拡張整備完了後（平成23年4月以降）の予定です。

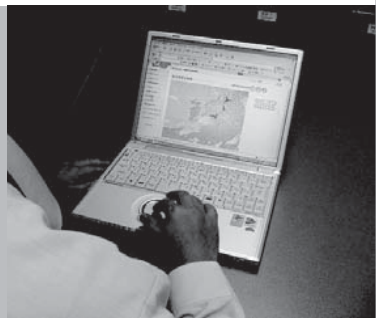
### 2 音声告知 放送サービス

町、各区、団体、学校などからのお知らせを音声で聞けます。



音声による告知放送のサービスです。緊急放送をはじめ、町からの暮らしの情報、区からのお知らせ、各種団体からの案内、学校や保育所からの行事予定など、一斉放送や地区放送を利用して聞くことができます。また、聞きのがした場合でも、録音機能により再度聞きなおすことができます。なお、運用は拡張整備完了後（平成23年4月以降）の予定です。

### 4 インターネット 接続サービス



高速インターネットへの接続サービスです。CATVの付加サービスとして、月額2,000円（接続料・プロバイダ料込み）で利用できます。今回の拡張整備にあわせて、接続サービスを外部委託することにより、サービスの充実と安定的な運営を目指しています。試験放送期間中でも利用は可能です。

※写真はイメージです。実際に設置する機器とは異なります。

## 地上デジタル放送移行まで あと二年

二〇二二年（平成二十三年）七月二十四日以降は、現在のアナログ放送が終了し、デジタル放送のみになります。  
デジタル放送になると、現在お使いのアナログテレビチューナーでは視聴ができなくなり、デジタルチューナーやデジタルチューナー内臓テレビが必要となります。  
町内では地上デジタル放送の受信が困難な地域が非常に多くあるため、CATV拡張整備にあわせて地上デジタル放送への対応も進めています。  
一人でも多くの方々に加入いただきまますようお願いいたします。

## 地区役員を対象に 地元打ち合わせ会議を開催



CATV地元打ち合わせ会議（わち農村環境改善センター・安栖里）

幹線伝送路工事の進捗状況にあわせて、まずは和知地区の行政区や共聴組合の役員の方を対象に「地元打ち合わせ会議」を行いました。会議では、工事進捗状況をはじめ、引き込み工事や宅内配線工事の概要、加入手続きなどについて担当職員が説明した後、質疑応答で理解を深めていただきながら、これからの進め方を話し合いました。  
今後は、工事の進捗状況に応じて、丹波地区でも同様の打ち合わせ会議を行っていく予定です。  
なお、打ち合わせ会議での主な質問は、次のとおりです。

- 問** 「母屋」と「離れ」がある場合の引き込みはどうなるのですか。  
**答** 隣接している場合は、母屋に引き込みをし、宅内配線を延長して「離れ」まで配線することができます。しかし、家屋状況によって異なりますので、別途ご相談ください。
- 問** テレビの台数によって追加料金が発生しますか。  
**答** 追加料金は発生しません。テレビの台数に関係なく利用料は月額二千円です。
- 問** テレビはきれいに映りますか。  
**答** 整備後は良好な受信電波を光ケーブルによって送信するので、今まで以上にきれいな画質でテレビをご覧いただけます。
- 問** CATVはいつから利用できますか。  
**答** 引き込み工事や宅内配線工事が完了すると、試験放送の利用が可能となります。試験放送では、地上デジタル放送・地上アナログ放送の視聴が可能となります。また、別途利用料が必要ですがインターネット接続サービスの利用も可能です。  
音声告知放送や地域内無線電話（有線電話）は、平成二十三年四月以降から利用可能となります。  
なお、試験放送期間中（平成二十三年三月三十一日まで）は、工事による通信停止などを行うことがありますので、CATVの基本利用料（月額二千円）は必要ありません。（図2参照）

- 問** 音声告知放送は、全町一括の放送しかできないのですか。  
**答** 全町一括放送をはじめ、地区放送（丹波・和知・瑞穂など）や行政区ごとの放送も可能です。  
なお、運用の詳細は検討中ですので、決定後にお知らせします。
- 問** 有線電話専用の電話機が設置されますか。  
**答** 専用の電話機は設置しません。電話機は、現在NTTの回線用にお使いの電話機の使用が可能となるものを考えており、NTTなどの回線を告知端末機に接続いただくことで、有線電話とNTT電話の両回線が使用可能になる予定です。  
なお、瑞穂地区では現在、専用電話機を使用していますが、同様の対応ができるように告知端末機の交換を行う予定です。
- 問** 有線電話の使い方は。  
**答** 新たに町内専用の有線電話番号を設定します。その番号を発信することで、町内無料の有線電話の利用が可能となります。
- 問** 利用料の減免はありますか。  
**答** 生活保護を受けている世帯や、視覚聴覚で一・二級の身体障害者手帳を構成員に有する世帯、満七十歳以上の一人暮らしで町民税非課税世帯など、一定の基準を設けて減免を行います。減免は申請方式で、申請いただいた後に適用の有無を審査します。

### ■ご加入いただくのに必要な費用（拡張地区：丹波・和知地区のみ）

	加入分担金	月額利用料		引き込み工事	宅内配線工事
		基本サービス	2,000円		
加入促進期間 （平成23年3月31日まで）	10,000円	付加サービス （インターネット接続サービス）	2,000円	無料	実費
		基本サービス	2,000円		
通常加入 （平成23年4月1日以降）	80,000円	付加サービス （インターネット接続サービス）	2,000円	実費	実費
		基本サービス	2,000円		

※月額利用料の付加サービスはインターネット接続サービスのみ記載しており、他の付加サービスご利用の場合は、付加サービスに応じて利用料をいただきます。  
※NHK受信料は別途必要です。  
※加入申込については、別途ご案内させていただきます。  
※加入促進期間中は試験放送となるため、基本サービス料（2,000円）がかかりません。

- 問** インターネット接続はどのようになるのですか。  
**答** CATVに加入いただいた方で、インターネット接続を希望される方は加入申し込みが必要です。利用料は、CATVの基本料とは別に月額二千円を予定しています。  
試験放送期間中でも、インターネット接続サービスは利用できますが、利用料は必要となります。

Dr's Message

# いきいき健康術

第23回

## 『インプラント治療について』

このコーナーは、町立病院・診療所の医師や専門職員がみなさんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は和知歯科診療所の舟木健先生。近年盛んに行われている「インプラント治療」についてのお話です。

### インプラントの手入れ

インプラントで一番大切なのは日ごろの手入れです。手入れを怠ると、感染を起こしインプラントが抜け落ちたりすることがあります。食後の歯みがきはもちろん、歯肉の健康状態や正しい歯み合わせのチェックをするために半年に一度は定期健診が必要となります。

### 日ごろからの予防が大切

インプラント治療は、従来の治療法と比べて身体への害などが少ないことから、非常に有用な方法として近年盛んに行われていますが、簡単なものではありません。虫歯や歯周病で歯がなくなってしまうよう、食後の歯みがきや定期的な健診の受診など、日ごろから予防に心がけることが大切です。



舟木 健先生(和知歯科診療所)

### 具体的な治療方法

これまで虫歯、歯周病事故などで歯がなくなったときは、入れ歯や両隣の歯を削って人工の歯を被せるブリッジなどの治療方法が多く用いられてきました。しかし、これらの方法では、健康な歯を削ったり、異物感や噛みにくさなどの不快感を覚えたりすることがあります。そこで考えられたのが、歯のないところに代わりの物を埋め込む「インプラント」といわれる治療方法です。

### インプラント治療の特徴

すべての患者さんにインプラント治療ができるわけではありません。重度の心臓病や糖尿病などの持病がある方ははじめ、あごの骨の状態によって治療ができないことがあります。また、治療費も保険外診療となるため高額になる場合がありますので、詳しくはかかりつけの歯医者さんに相談してください。

## 地域の未来を語ろう

「地域力向上会議」を初めて開催

和知第二ブロック区長会(篠原、大迫、長瀬、塩谷、上乙見、下乙見)が六月十八日、地域住民が参加して地域の未来を話し合う「地域力向上会議」を長瀬公民館で開催し、地元区役員ら約四十人が参加しました。

同会は、住民自治組織を育成することを目的に町が今年度創設した「地域力向上事業」(詳細は四十三号に掲載)を活用して、町内で初めて取り組みを実施。参加者は、まちづくり推進担当職員のサポートを受けながら、七グループに分かれてグループワークを行いました。

参加者からは、「みんなで意見を出し合うことで、地域の魅力や課題が共有できた」「話したことのない人と話してきてよかった」など、今後の展開につながる意見が多く出されました。



ワークショップで意見を交わす参加者(長瀬公民館・長瀬)

今後は、月一回程度会議を開催し、未来の地域づくりのため具体的な活動の企画書作成や実践に向けた検討をされます。

## 京都府社会教育委員連絡協議会長から表彰状を贈呈

社会教育委員の中野さんに表彰状を授与

このほど、社会教育委員として平成十三年四月から社会教育の推進に貢献されている中野昭さん(豊田)に、京都府社会教育委員連絡協議会長から表彰状が贈られました。おめでとうございます。



京都府社会教育委員連絡協議会の表彰を受けた中野さん

## 工事について学ぶ機会を

松山小一年生が京都縦貫道の工事現場を見学

松山小学校の一年生九人が五月二十九日、中台地内で行われている京都縦貫自動車道・丹波綾部道路の工事現場を見学しました。

見学会は、同工事の施工業者の提案で、京都縦貫道の工事状況や重機のことを地元の児童らに知ってもらうことを目的に実施。工事現場を訪れた児童らは、大型のブルドーザーを見て驚きながら、重機への乗車体験やバックホウの掘削作業を見学しました。



バックホウの掘削作業を見て喜ぶ児童ら(中台地内)

## 遊休農地の荒廃を防ぐために

西河内で「レンタカウ」を開始

西河内農家組合が六月五日、遊休農地の荒廃防止や有害獣への対策として借りた牛を放牧する「レンタカウ」の取り組みを開始しました。

同組合は、京都府の制度を利用して、平成十六年から毎年レンタカウを実施。今年も電気柵で囲った放牧場を二箇所(約九十坪)の休耕地に設置し、淀高原牧場から搬送された黒毛和種(雌)二頭を放牧されました。

レンタカウの実施期間は九月十八日まで。期間中は同組合員が飼料や体調管理などの世話をし、放牧場の雑草状況をみて牛を移動させます。



放牧地で雑草を食べる牛(西河内内内)

### 発達支援の充実を目指して

丹波ひかり小学校に通級指導教室が開設

丹波ひかり小学校通級指導教室の開  
設式が六月二十二日、同校に隣接する  
地域交流センターで行われ、町内小・中  
学校長や保育所長、幼稚園長ら約三十  
人が参加しました。

通級指導教室とは、通常の学級に在  
籍し、心身の発達に心配がある児童・生  
徒に対する指導の一層の充実を図る観  
点から、言語面や情緒面などの特別指  
導を行う教室。本町では、町内の小・中  
学校に在籍する子どもたちを受け入れ  
る教室として、今年度初めて同校に開  
設しました。

開設式では、寺井行雄教育  
長が「今回の開設を機に、町  
内の小・中学校や保育所、幼  
稚園で発達支援への取り組み  
がより一層推進されることに  
期待します」とあいさつした  
後、同教室担当の山川秀一教  
諭が「通級指導教室の指導に  
ついて」と題した講演を実施。  
その後、参加者らは開設され  
た教室を見学しました。



開設式であいさつをする寺井教育長(丹波ひかり小学校・曾根)



山川教諭(左から2番目)の説明を受けながら教室を見学する参加者

### 健康づくりは歯の予防から

健康広場

一生自分の歯でおいしく食べようを  
テーマとした「健康広場」が六月二十一  
日、丹波マーケス・コミュニティホール  
で開催され、町民ら二百六人が参加し  
ました。

健康広場は、町民の健康意識を高め、  
歯の健康に関心をもっていたくこと  
を目的に、町と府歯科医師会口丹波支  
部、府歯科衛生士会、町健康づくり推進  
協議会の共催で今回初めて実施。会場  
内に設けられた「歯のひろば」では、歯科

健診や歯みがき指導、歯に関する相談、  
口臭度テスト、口腔細菌検査などが行  
われ、参加者らは歯の基礎知識を学び  
ながら、日ごろからの予防活動の大切  
さを再認識していました。

また、会場には、骨量測定や健康相談  
をはじめ、町食生活改善推進員協議会  
の協力による試食コーナーなども設け  
られ、参加者は「歯も含めて自分の健康  
状態がわかってよかったです」と感想を話さ  
れていました。



歯みがき指導を受ける参加者(丹波マーケス・須知)



多くの人でにぎわう会場

### ゲートボールを通じて世代間交流を

ふれあいゲートボール大会

京丹波町ゲートボール協会の会員と  
竹野小学校の児童が交流する「ふれあ  
いゲートボール大会」が六月九日、同校  
のグラウンドで行われ、会員や児童ら  
約六十人が参加しました。

同協会が主催するこの取り組みは、  
世代間交流を通じて児童が高齢者への  
認識を高めることを目的に、町内の各  
小学校で実施。この日は、同校の四一六

年生三十人が参加し、会員からルール  
などを教えてもらった後、四コートに分  
かれてゲームを楽しみました。

ゲームが始まり、会員が次々とボー  
ルを当てていくと、児童らは声援を送り  
ながら、会員のプレーする姿を見つめて  
いました。また、競技時間の終了を名残  
惜しみ、ゲートボールの魅力に引き込  
まれていました。



会員にボールの打ち方を教わる児童(竹野小学校・高岡)

### 現場で学ぶ畑川ダムの 工事状況

下山小の児童が畑川ダム  
トンネル水路工事現場を見学

下山小学校の三・六年生五十四人  
が六月二十四日、下山地内で行われて  
いる畑川ダムトンネル水路工事の現場  
を見学しました。

見学会は、同工事の施工業者の提案  
で、普段見られないトンネル工事の現  
状や工法を地元の児童らに知ってもら  
うことを目的に実施。児童らは、三・四  
年生と五・六年生の二班に分かれて現  
場を訪れ、トンネル工事の説明や測量  
器械の実演、トンネル内の見学などを  
行いました。

### 長瀬地区の活性化プランを近畿大学の学生が提案

「元気・長瀬の会」がワークショップを開催

六月七日、長瀬区と近畿大学農学部  
で組織する「ふるさと共援活動組織」元  
気・長瀬の会が、長瀬公民館でワーク  
ショップを開催し、地元区民や学生ら  
約七十人が参加しました。

同会は、長瀬地区の地域資源の掘り  
起こしや活性化の方向性などを協議す  
るために、これまでに二回のワークショ  
ップを実施。現地調査や協議結果を踏  
まえて学生らは「長瀬プラン」と「長瀬  
マップ・カレンダー」を作成し、今回の会  
議で地元住民に提案しました。

プランのコンセプトは、「スロー&ヘ  
ルシーの達成」。同区内にあるアグリパ  
ークわちを拠点とし、柵で囲んだ中で  
ペットを自由に遊ばせストレスを解

消させる「ドッグラン計画」、樹木に接し  
精神的な癒やしを求める「森林利用計  
画(森林浴散歩)」、農場や農園に滞在し  
て農業体験を行う「ファームステイ計  
画」の三項目で構成。提案を受けた地元  
住民からは、「費用対効果は得られるの  
か」「マップなどに地域の現状をもっと詳  
しく明記しては」「地域で気付かなかつ  
たことを提案いただいたので今後役に  
立てたい」など、さまざまな意見が出さ  
れました。

今後は、長瀬ファンづくりのために、  
今秋・来春のイベント開催やマップ・カレ  
ンダー完成など、活性化に向けた短期  
的な提案の実践活動に取り組まれます。



プランなどについて意見を交わす地元住民と学生(長瀬公民館・長瀬)



測量器械の実演作業を見つめる児童ら(下山地内)

### ボランティア活動で 快適な環境を 除草作業を実施

松山寿会が京丹波町病院周辺の除草作業を実施

松山寿会が六月二十四日、ボランティアで京丹波町病院周辺の除草作業を行いました。同会は毎年、雑草が伸びるこの時期に除草作業に取り組み、病院周辺で活動されるのは今年で三年目。今回は会員約百二十人が参加して、芝生や花壇内の草引き、病院周辺の草刈りなど、持参した道具を使って手際よく作業をされました。同会会長の保田昭男さん(井脇)は、「病院はわたしたちの医療や介護などで担う身近で大切な存在です。日ごろお世話になつて恩返しとして除草作業に努めたい」と話されました。

手分けして除草作業を行う会員(京丹波町病院・和田)



### 地域の交流やふれあいを深めるために 京丹波町グラウンド・ゴルフ大会

第四回京丹波町グラウンド・ゴルフ大会(町体育協会主催)が六月十四日、丹波自然運動公園前のふれあい広場で行われ、出場選手ら約二百十人(三十四チーム)が参加しました。

同大会は、一チーム六人で構成されたチーム対抗で行われ、六ゾーンに分かれて合計打数の少なさを順位で決定。試合前に行われた開会式では、町体育協会の中野昭会長が「競技を通じて地域の交流やふれあいを深めていただくとともに、好成績を目指してがんばってください」とあいさつし、参加者らを激励しました。



チームワークで高得点を狙う参加者(ふれあい広場・蒲生野)

試合では、ホールインワンやファイナルプレーが飛び出し、参加者の楽しそうな声が響き渡りました。なお成績(優勝のみ)は次のとおり。

- Aゾーン グリーンハイッ区 A
- Bゾーン 下山区 A
- Cゾーン 橋爪区
- Dゾーン 上豊田区
- Eゾーン 曾院幸森 A
- Fゾーン 曾院幸森 B

### 健康づくりへの思いを 川柳に託して

「健康づくり川柳」の入選作品が決定。町民のみなさんから募っていた「健康づくり川柳」の審査会が六月四日、瑞穂保健福祉センターで行われ、最優秀作品などを決定しました。

審査会では、審査員を務める健康づくり推進協議会委員が、応募総数三百九十六点の作品から優秀作品百二十五点を選び、その中から最優秀作品四点を選考。今回の審査では、「健康づくりへの思いに多くの人が共感できるか」「わかりやすい表現か」など、川柳の基本である五・七・五の形にこだわらず、独自の判断基準を設けて部門別に入選作品を選びました。最優秀作品に選ばれた作品は、次のとおりです。

#### 最優秀作品

- 【健(検)診部門】  
健診は 我が身すべての 通信簿  
大西 修さん(質美)
- 【健康づくり部門】  
家族の笑顔と健康は  
我が家の大きな宝物  
西山珠江さん(猪鼻)
- 【栄養部門】  
朝ごはん きちんと食べて  
行つて来ます  
谷垣良子さん(水原)
- 【運動部門】  
ウォーキング 日々の出会いが  
活力に  
野間昌子さん(本庄)

### 野生動物を 飼養するために

京丹波町猟友会和知支部が  
鎮魂塔を建立

京丹波町猟友会和知支部が五月三十日、野生動物を飼養するための「鎮魂塔」の建立式を坂原地内で実施し、同支部会員ら約三十人が参加しました。

建立された塔は、有害鳥獣駆除などで狩猟した動物だけでなく、野生動物すべての魂を鎮めるとの思いを込めて「共生鎮魂之塔」と命名。建立式では、塔の除幕が行われた後、同支部長の白樫さんが「動物たちの駆除などで心が痛んでいたが、塔が建立できて少し落ち着いた。今後も農家のみなさんの農作物を守るために活動を続けていきたい」とあいさつし、参加者らとともに静かに動物の霊をなぐさめました。



建立式であいさつをする白樫支部長(坂原地内)

### 児童たちが選ぶお気に入りの図書

竹野小学校が「選書会」を実施

竹野小学校が六月十七日、児童が読みたい本を選んで購入する「選書会」を同校図書室で行いました。

これまで図書室の本は、職員が選んで購入していましたが、「本当に子どもたちが読みたい本を購入したい」との思いから、地域の方からの寄附金を活用して、今年度初めて取り組みを実施。選書会は、全校児童五十七人がそれぞれ三枚のしおりを持ち、図書室に並べられた絵本や歴史本、昔話など四百冊の中から、気に入った本にしおりをはさんで投票し、最終的にしおりの数が多かった百五十冊程度の本を購入する方法で行われました。

参加した児童らは、「この本にしようかな」などと話しながら、気に入った本を選んで次々と投票していきました。また、読書指導員の西村洋子さんは、「子どもたち自身で選んだ本は思い入れが強く、意欲の向上につながっているのではないかと話されました。」



気に入った本を探す児童(竹野小学校・高岡)

#### 人の動き

##### 緑の指導員

- 丹波地区 / 横山孝司(口八田)
  - 瑞穂地区 / 上林忠雄(質美)
  - 和知地区 / 蒲生 稔(稲次)
- \*京都市知事からの委嘱を受け、鳥獣保護のための巡回と、森林や自然環境の保全に対する巡視を行います。

##### 自衛官募集相談員

- 岩崎栄喜雄(須知)
  - 蒲生 優(稲次)
  - 田畑 実(才原)
- \*町長と自衛隊京都地方協力本部長からの委嘱を受け、自衛官志願者に対して、自衛隊に関する情報提供や広報活動などをを行います。

#### 職員の配置

- 新規採用(七月一日付)  
北村友美(京丹波町病院看護師)
- 異動(七月一日付)  
豊嶋裕美(税務課主事)

#### わたしたちの町

人口	17,064(±0)
男	8,074(-5)
女	8,990(+5)
世帯数	6,501(+5)
7月1日現在( )は前年比	



# ありがとう

オードリーさん・ブライアンさん



オードリー・ビヴァンさん



ブライアン・ジョーンズさん

A L T (外国語指導助手)として町内の小中学校で英語の指導をしているオードリー・ビヴァンさんが七月末、ブライアン・ジョーンズさんが八月はじめに、それぞれの故郷へ帰国します。

オードリーさんは、平成十七年七月にニューヨークから来日し、和知中学校や蒲生野中学校、丹波・和知地区の小中学校で英語を指導。一方、ブライアンさんは、平成

## インタビュー

Q. A L Tになったきっかけは

【オードリー】

母国で多くの日本人と出会ったことから日本に興味を持ちました。そして、より多くのことを学ぶために日本に来て、地域の人たちと一緒に時間が過ごせるA L Tになりました。

【ブライアン】

日本に興味があったので、大学時代に日本語を勉強して一年間留学しました。そして、子どもたちに英語を教えながら、日本文化や日本語の勉強ができるA L Tになりました。

Q. 来日してから印象深い出来事は

【オードリー】

先生が生徒を大切にしているのが印象的で、生徒は本当に幸せだと思えます。また、「お祭り」が素敵です。

【ブライアン】

子どもたちと遊んだり、会話を楽しんだりする中で、たくさん笑顔を見ることができてうれしかったです。

Q. 京丹波町の思い出は

【オードリー】

周りの人たちに気軽に声をかけていただいたことや、優しく接していただいたことがうれしかったです。この地域で暮らせてとても幸せでした。

【ブライアン】

一番の思い出は、子どもたちががんばって英語で話してくれたことです。そのときは、A L Tとしての仕事ができても本當にうれしく思いました。

Q. 町民のみなさんや

子どもたちへのメッセージは

【オードリー】

京丹波町は美しい自然に囲まれて、人々は親切で、笑顔で楽しく暮らしている町だと思います。今後も国際化社会を目指して、ホークスベリー市やタイエリ・カレッジとの交流、A L Tの採用を続けてほしいと思います。

【ブライアン】

世界ではグローバル化が進んでいるので、未来を見据えて、町民のみなさんも子どもたちと一緒に英語をちよつとずつ勉強してください。みなさん、これから英語をがんばってください。

## 編集後記

町内で工事が進められている「ケーブルテレビ拡張整備事業」。編集子が住む地域は現在、個別アンテナを設置してテレビ電波を受信しているので、きれいに映らないチャンネルや、天候によって映りが悪くなる時があります。そのため、見たい番組を選ぶのではなく、映りがよいチャンネルから番組を探すような状況です。編集子も町民の一人として、ケーブルテレビの全町開局を心待ちにしています。(K)